

氏名	室 井 延 之
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 乙 第 2786 号
学位授与の日付	平成 6 年 6 月 30 日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第 4 条第 2 項該当)
学位論文題目	Effect of Reserpine on Histamine Metabolism in the Mouse Brain (マウス脳内ヒスタミン代謝に対するレセルピンの効果)
論文審査委員	教授 森 昭胤 教授 庄盛 敏廉 教授 産賀 敏彦

### 学 位 論 文 内 容 の 要 旨

脳内ヒスタミン代謝に対するレセルピンの効果をマウスを用いて検討した。レセルピン投与により脳内ヒスタミンレベルは変化を示さなかったが、tele-メチルヒスタミンレベルは有意に減少した。レセルピン投与24時間後のパーズリンによるtele-メチルヒスタミンの蓄積は対照群の19%にまで抑制されたが、(S)- $\alpha$ -フルオロメチルヒスタジンによるヒスタミンの減少はレセルピン処理1時間または24時間後においても変化しなかった。メトプリンまたはL-ヒスタジンによるヒスタミンの増加はレセルピン前処理により著明に抑制され、この抑制効果はレセルピン24時間前処理より1時間前処理のほうが著明であった。これらの抑制効果はレセルピンがヒスタミン代謝回転を抑制することを示唆する。そこで我々はヒスタミン作動性神経終末にはレセルピン感受性および抵抗性の複数のヒスタミンプールが存在し、それぞれのヒスタミンプールにおけるヒスタミン容量およびヒスタミン代謝回転が異なっていることを提唱する。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

### 論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究はマウス脳内におけるヒスタミンの代謝について実験的研究を行ったものであるが、ヒスタミン作動性終末にはレセルピン感受性および抵抗性の複数のヒスタミンプール

のあることを明らかにしたもので、ヒスタミンの神経伝達機構を解明するための重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。